

7月13日(火)、本年度最初の第1465回例会が金沢ニューグランドホテル「銀扇」にて開催されました。

初めに堀岡会長より本年度最初の挨拶があり、会長スローガン、クラブ運営方針について話されました。スローガン『ライオンズ道で究める我らの社会奉仕』と掲げ60年という歴史を誇りに思って、これからの新しい時代へと変革に対応しながら金沢東ライオンズの社会奉仕を極めてまいりたいと決意を話されました。また、熱海市の土石流災害に触れ、被災された方、お亡くなりになられた方に対してお悔やみの念を言葉にされました。例会の運営に関して、プログラムやスローガンなどをクラブカラーの黄色で統一したこと、また、時間厳守を徹底するためメンバースピーチ等の際に「3分前」「終了」とプラカードで時間経過を促す事を実施していくことを話されました。最後に今日のランチをコロナに勝つという思いを込めて「カツカレー」にしたと力強く話し皆様の笑いを誘い会長の挨拶と締めくくりました。



次に新入会員入会式が行われ、中日新聞北陸本社の裏野 衛様が入会されました。若林会員理事より経過報告があり、粛々と入会式が執り行われました。次に裏野 L.より自己紹介がなされ、前任の永松 L.の後を引き継ぎ入会した経緯を話され、また星稜高校時代に馳浩衆議院議員とともに生徒会で頑張っていたことも話されました。生徒会長が裏野 L.、副会長が馳氏であったということで話題になっていることに触れ、昔と今の力関係や立場を踏まえた話があり和気あいあいとした自己紹介となりました。

次に、前年度皆出席者の顕彰が行われ東隆盛 L.をはじめ計10名の方々が顕彰され、堀岡会長より記念品が贈呈されました。

次に、前年度決算報告書を前会計 松尾 靖 L.より、前年度監査報告を前会計監査 村上博文 L.より、新年度予算報告を会計 林 達博 L.より報告がありました。

委員会アワーでは、計画委員会より横田 恭一委員長より本年度の抱負の発表がありました。「世代を超えたメンバーの絆と融和を深める例会」を掲げ、若いメンバーも増えて来ている中で60年という歴史を



先輩から引継ぎ新たな一歩を歩んで行けるよう絆と融和を深めて行ける例会運営に努めて参りますと話された。また、次回の納涼同伴例会のPRをはじめとする下期には他クラブとの合同例会を二回行うことも発表されました。

続いて社会奉仕委員会より寺井 誠委員長より発表がありました。赤十字センターと連携して献血活動をメインに活動していくことを話され、また積極的な活動参加のお願いがありました。

各種報告事項の後、テールツイスターの中山恭一 L.より沢山のドネーションの発表がありました。

最後に浅野幹事より急遽にもかかわらず熱海市土砂災害へのタオル支援に多数のご協力頂いたことを感謝しお礼申し上げて本年度初例会が終了となりました。

